

# 第10回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム (山梨県フォーラム)

入場無料

桂川の水が神奈川県民の飲み水であることをご存知ですか？  
～桂川・相模川流域の環境保全に向けて、今、何が求められているかを考える～

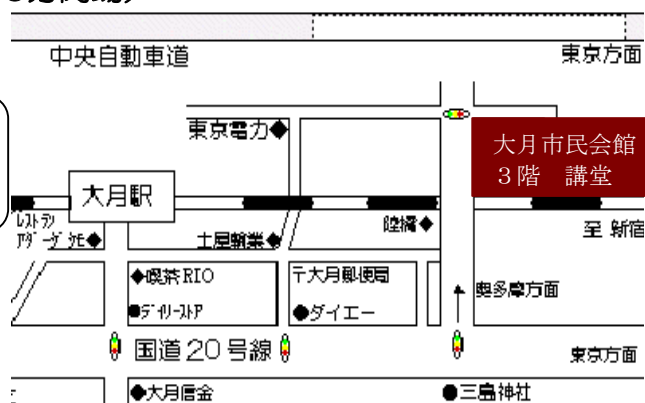
神奈川県では、個人県民税の超過課税を財源として、水源環境の保全・再生に取り組んでいます。また、フォーラムを開催し、事例発表や意見交換を行っています。

山梨県フォーラムでは、山梨県と神奈川県での取組などを紹介し、「県民参加による県境を越えた流域環境保全」をテーマに、これからの施策のあり方について、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

○日 時 平成22年9月4日(土)  
13時30分～15時30分(13時00分開場)

会場案内図

○場 所 大月市民会館 3階 講堂  
住所：山梨県大月市御太刀2-11-22  
交通：JR中央本線大月駅下車 徒歩約10分  
※駐車場スペースには限りがございますので  
できるだけ乗り合わせてご来場ください。



○主 催 水源環境保全・再生かながわ県民会議

○定 員 先着200名(当日受付)

○内 容

- 1 開会挨拶
- 2 山梨県・神奈川県の実策や取組の紹介(山梨県職員・神奈川県職員)
- 3 パネルディスカッション 「県民参加による県境を越えた流域環境保全」

コーディネーター：木平 勇吉 (東京農工大学名誉教授・県民会議委員)

パネリスト：河西 悦子 (桂川・相模川流域協議会代表幹事)

// : 中村 文明 (多摩川源流研究所所長)

// : 田所 正晴 (神奈川県環境科学センター専門研究員)

パネルディスカッションでは、皆様からの御意見をお待ちしています！

※ 会場では手話同時通訳を行います

当日は、ペットボトル水「神奈川の水」を  
プレゼントいたします。皆様か普段飲んで  
いらっしゃる水と飲み比べてみてください。

【問い合わせ先】

事務局(神奈川県環境農政局水・緑部水源環境保全課)

住所 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 045(210)4352 FAX 045(210)8849

水源環境保全・再生  
イメージキャラクター  
しずくちゃん



# 出演者を紹介します



## ★コーディネーター★

### 東京農工大学名誉教授 このひら ゆうきち 木平 勇吉

森林科学を信州大学、東京農工大学、日本大学で教える。その間、ニュージーランド森林研究所研究員、ワシントン大学・メルボルン大学訪問教授、国内では日本林学会会長、農林水産省の林政審議会会長を務める。

著書に『森林科学』（文永堂出版、2007）、『みどりの市民参加』（日本林業調査会、2010）など。日本農学賞、日本林学会賞、林業技術奨励賞を受賞。農学博士（名古屋大学）。

現在は、丹沢大山自然再生委員会委員長、神奈川県森林審議会会長、藤沢市みどり保全審議会会長、藤沢市川名谷戸保護団体代表、水源環境保全・再生かながわ県民会議委員など地域で活動。

## ★パネリスト★

### 桂川・相模川流域協議会代表幹事 かわにし えつこ 河西 悦子

山梨県大月市在住。市民活動として地元の水問題に取り組む中で、自治体の壁を越えた連携の必要性を強く感じ、桂川・相模川流域協議会の準備段階から関わる。1998年設立時より代表幹事の一人として担う。流域上流部の課題として森林の荒廃（特に民有林）の問題があるが、2002年、神奈川の市民・地元メンバー・地元の学生達と「大月森づくり会」を立ち上げ、水源林の整備・保全・活性化をめざし、実践的な活動にも取り組んでいる。

### 多摩川源流研究所所長 なかむら ぶんめい 中村 文明

東京農業大学非常勤講師、NPO法人全国源流ネットワーク代表、多摩川流域ネットワーク代表を務める。

1983年から多摩川源流に通い始め、1994年から多摩川源流の淵や滝、尾根や沢などの名称と由来の調査を開始する。

源流体験ツアーや源流写真展の開催のほか、多摩川源流絵図（塩山・丹波版、小菅版、奥多摩版）の作成など、源流とのふれあいに尽力している。

また、森林管理の基盤整備である森林作業道の開設・普及のため、政府への政策提言や研究会の開催など、積極的な活動を行なっている。

### 神奈川県環境科学センター専門研究員 たどころ まさはる 田所 正晴

神奈川県職員（1974年入庁）。同年衛生研究所に配属。1991年より環境科学センターに所属。現在、調査研究部専門研究員。生活排水の処理技術など環境工学分野が専門。最近は、「相模湖・津久井湖の水質汚濁の実態解明」など負荷量調査の研究業務に従事。

（敬称略）